



株式会社 越智製作所

# “SDGs”事業統合戦略計画

-2022年度実績-



**対象期間：2022年1月～12月**

対象範囲：本社。一部、中国・ラオス工場を含む。  
(本社以外を含む場合は明記する)

**発行：2023年5月12日**



# 実績進捗確認（実績報告）

ESG 分類	重点施策	2030 年度目標	2022 年度 実績						
環境 (E)	1.温室効果ガス 排出量の削減推 進	<p><b>&lt;基準年を2019年として温室効果ガス排出量の削減を2030年までに大幅に削減する&gt;</b></p> <p><b>目標</b>          当社の当社及び海外子会社（中国、ラオス）において消費する電力の削減につとめ、2030年までに2019年比で20%削減します。  <b>※基準年排出量 2019年</b></p> <table border="0"> <tr> <td>Scope1</td> <td>87t-CO2/年</td> </tr> <tr> <td>Scope2</td> <td>253t-CO2/年</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>340t-CO2/年</td> </tr> </table> <p><b>※目標年 2030年における排出量</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Scope1（2019年のScope1×80%= 70t-CO2）</li> <li>・Scope2（2019年のScope2×80%=202t-CO2）</li> </ul> <p>合計 272t-CO2/年</p> <p><b>取組内容</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 従業員に対して、省エネ活動に関する教育を実施し、効率的な生産と、残業時間の削減、無駄な電気の使用を排除により会社全体での温室効果ガス削減の取組を推進する。</li> <li>2) 本社で使用電力の契約メニューに関して、再生可能エネルギー由来の電力やより低排出係数の電力メニューへの切り替えを試みる。</li> <li>3) 電灯や工場生産設備の更新の際には、より省エネ効果の高い機器・設備類への更新に努める。</li> </ol> <p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・従業員への省エネ教育の推進（1回/年）</li> <li>・本社の全電力使用量の集計（毎月）</li> <li>・設備更新の際に従前の設備より省エネ性能が高いことの確認（設備更新時）</li> </ul>	Scope1	87t-CO2/年	Scope2	253t-CO2/年	合計	340t-CO2/年	<p><b>&lt;基準年を2019年として温室効果ガス排出量の削減を2030年までに大幅に削減する&gt;</b></p> <p><b>2022年の削減目標</b>          2022年1月～12月で5.5%削減を目指す。          （20%/（2030年-2022年）×（2022年-2019年））</p> <p><b>【参考】基準年 年間電力使用量（2019年1月～12月）</b></p> <p>□本社 173,155kWh          □中国 56,823kWh          □ラオス 173,266kWh</p> <p><b>2022年実績</b>  <b>年間電力使用量</b></p> <p>□本社 157,025kWh          □中国 56,268kWh          □ラオス 194,141kWh</p> <p><b>排出量（本社および中国・ラオス子会社 総量）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Scope1 60t-CO2/年</li> <li>・Scope2 240t-CO2/年</li> </ul> <p>合計 300t-CO2/年</p> <p><b>年間排出量削減率（基準年 2019年比）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Scope1： -31.2%</li> <li>・Scope2： -5.3%</li> </ul> <p>合計： -11.9%</p>
	Scope1	87t-CO2/年							
Scope2	253t-CO2/年								
合計	340t-CO2/年								
2.水消費量適正 管理	<p><b>&lt;水消費量及び排水負荷のモニタリングの継続&gt;</b></p> <p><b>目標</b>          水の使用量は多くはないが、本社、中国、ラオスにおける水使用量を継続的にモニタリングし、水資源の有効利用につとめる。          また、水の排水基準の順守のために中国の子会社においては法規制に従ったモニタリングを行い不順守の未然防止する</p> <p><b>取組内容</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 各事業所において、毎月の水使用量をモニタリングする。</li> </ol>	<p><b>&lt;水消費量及び排水負荷のモニタリングの継続&gt;</b></p> <p><b>2022年実績</b>          水使用量（年間）</p> <p>□本社：644.0 m<sup>3</sup>          □中国：370.2 m<sup>3</sup>          ※ ラオス工場は2023年から集計開始予定</p> <p>中国事業所の排水検査：2022年1月実施</p>							



OCHI  
KUMANO

ESG 分類	重点施策	2030 年度目標	2022 年度 実績
		2) 中国の事業所においては、排水基準を満たしていることを定期的にモニタリングし、記録を保持する。 3) 水の有効利用のために中国の事業所において水循環、再利用を推進する  <b>指標</b> 年間の水使用量、中国事業所の排水基準	
	3. その他の環境負荷の低減	<b>&lt;その他の環境負荷低減への取組&gt;</b>  <b>目標</b> 1. 騒音発生の要因となるコンプレッサーや車両においては騒音を防止するために適切な防音対策を施す。  2. 有機溶剤の使用による VOC の排出を適切に管理する  3. 廃棄物の発生抑制に努め、法規制に従った廃棄物処理を適切に実施するとともにリサイクルの推進に協力する。  4. お客様における当社製品の使用による健康被害の撲滅に努める。  <b>取組内容</b>  1) コンプレッサー置場の防音囲いを行い、騒音が大きくなりやすいように対応する。(扉を閉めて稼働させる)  2-1) 日本における有機溶剤の使用においては、適切な換気と人体への影響が及ばないよう作業手順を定める 2-2) 中国の事業所においては成型機及び換気設備に VOC 除外装置を設置し、適切な対応を行う  3-1) 産業廃棄物置場を常に清潔に保ち、法に従った表示とともに、許可業者によって適切な廃棄物処理を行う  4-1) 当社製品の使用に伴う、お客様からのアレルギー等の発生に伴うクレームをモニタリングし、健康被害の発生抑制と改善に努める  <b>指標</b> ・騒音のクレームの有無 ・中国事業所における VOC の検査報告書の適正な結果 ・産業廃棄物の排出量（特別管理（有害）、産廃排出量（非有害）、産廃処理方法におけるリサイクル処理に回った量） ・当社製品の使用によるお客様からのアレルギー関連のクレーム	<b>&lt;その他の環境負荷低減への取組&gt;</b>  <b>2022 年実績</b> ・アレルギー関連のクレーム件数：0 ・騒音クレーム：0



OCHI  
KUMANO

ESG 分類	重点施策	2030 年度目標	2022 年度 実績
		△件数	
社会 (S)	1.労働災害の撲滅	<p><b>&lt;安全な職場づくりとモニタリング&gt;</b></p> <p><b>目標</b> 労働災害の撲滅のために、労働災害度数率、強度率をモニタリングし、数値の改善を目指す。</p> <p><b>取組内容</b> 1) 労働災害撲滅のために月 1 回安全衛生定例会議を実施し、ヒヤリハットの振り返りと危険予知活動を行う。  2) 労働災害度数率、強度率を毎年モニタリングする</p> <p><b>指標</b> ・労働災害度数率、強度率</p>	<p><b>&lt;安全な職場づくりとモニタリング&gt;</b></p> <p><b>2022 年実績</b> ・労働災害度数率：0 ・労働災害強度率：0</p>
	2.多様性と女性活躍推進	<p><b>&lt;女性活躍推進のためのモニタリング&gt;</b></p> <p><b>目標</b> 女性の従業員比率、管理職比率が十分高いため、現状維持又は、50%以上を維持する。</p> <p><b>取組内容</b> 女性の働く環境の整備と、十分な配慮を行い、引き続き女性活躍できる組織作りを目指す。</p> <p><b>指標</b> ・女性の全従業員に占める割合 ・女性管理職の管理職総数に占める割合</p>	<p><b>&lt;女性活躍推進のためのモニタリング&gt;</b></p> <p><b>2022 年実績</b> <b>女性の全従業員に占める割合</b> ・ 88%</p> <p><b>女性管理職の管理職総数に占める割合</b> ・ 部長以上 33.3% ・ 課長以上 37.5%</p>
	3.ハラスメントの撲滅と人権の保護	<p><b>&lt;ハラスメントの撲滅&gt;</b></p> <p><b>目標</b> あらゆるハラスメントを撲滅し、心地よい労働環境の維持と、人権の保護を徹底する。</p> <p><b>取組内容</b> 1) ハラスメント防止のための教育を推進する 2) ハラスメントの発生未然防止のためにアンケートによってモニタリングする</p> <p><b>指標</b> ・ハラスメント教育の実施回数 ・ハラスメント防止のアンケート実施回数</p>	<p><b>&lt;ハラスメントの撲滅&gt;</b></p> <p><b>実績</b> ・ハラスメント教育：0（2023 年度実施予定） ・ハラスメント防止アンケート：実施なし</p>



OCHI  
KUMANO

ESG 分類	重点施策	2030 年度目標	2022 年度 実績
	4.人的資本への投資拡大	<p><b>&lt;人材育成の推進による組織力強化&gt;</b></p> <p><b>目標</b> 人材の教育を推進し、組織力を強化する</p> <p><b>取組内容</b> 会社で指定する技能研修への参加と資格取得を支援する。 ・フォークリフト運転技能講習修了証 ・射出成型機技能講習</p> <p>その他、従業員の希望により資格、講習会参加を支援する 社内研修の推進による技術力向上</p> <p><b>指標</b> ・資格取得、講習参加者への支援件数 ・社内教育訓練の実施時間 社内研修の推進 10 時間程度/1 コース</p>	<p><b>&lt;人材育成の推進による組織力強化&gt;</b></p> <p><b>実績</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フォークリフト運転技能講習修了証取得：1 件</li> <li>・社内教育 <ul style="list-style-type: none"> <li>・総研修時間：115.3 時間</li> <li>・従業員一人平均の研修時間：1.1 時間</li> </ul> </li> </ul>
ガバナンス (G)	1.公正な事業慣行の徹底	<p><b>&lt;公正な事業慣行徹底のための組織体制の確立&gt;</b></p> <p><b>目標</b> 公正な事業慣行の徹底のために、贈収賄防止、反競争的行為、腐敗防止に関する従業員の教育を実践することで、コンプライアンス意識の高い企業文化を形成する</p> <p><b>取組内容</b> 企業倫理に関する従業員教育を年 1 回実施し、従業員の意識向上を図る。</p> <p><b>指標</b> ・企業倫理に関する教育訓練の実施回数 (1 回以上/年) ・倫理に関する研修を受けた従業員の割合 (%) または人数 従業員対比 100% (正社員)</p>	<p><b>&lt;公正な事業慣行徹底のための組織体制の確立&gt;</b></p> <p><b>2022 年実績</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報セキュリティ教育：1 回実施 (参加者数 31 人)</li> <li>・倫理に関する研修を受けた正社員の割合：96%</li> </ul>
	2.育児による就業障壁の排除とワークライフバランスへの配慮	<p><b>&lt;産休、育休、有給休暇の取得推進&gt;</b></p> <p><b>目標</b> 産休、育休、有給休暇が取得しやすい職場を推進し、ワークライフバランスを考慮する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・休暇取得率 100% (希望者対象)</li> </ul> <p><b>取組内容</b> 産休、育休、有給休暇の取得を推進する職場環境を整備する</p> <p><b>指標</b> 産休、育休、有給休暇の取得率</p>	<p><b>&lt;産休、育休、有給休暇の取得推進&gt;</b></p> <p><b>2022 年実績</b></p> <p>【対象：全対象者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産休取得率：100%</li> <li>・育休取得率：女性：100%、男性：100%</li> </ul> <p>【対象：全従業員】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有給休暇取得率：96.1%</li> </ul>